



# いばらき未来基金 NEWS!

いばらき未来基金は、茨城の未来をつくり、生活を支え、地域のつながりを育む様々な市民活動と、応援したい市民や企業などをつなぐ、茨城のための市民コミュニティ基金。この基金をより一層みなさまに知っていただくために、未来基金についての最新情報をお届けします。

## いばらき未来基金第2回テーマ助成が決定しました！！



平成 29 年 7 月 7 日、いばらき未来基金第 2 回テーマ助成の助成金贈呈式が開催されました。

○NPO 法人 認知症介護家族の会うさぎ ○茨城保健生協 にここご食堂 ○NPO 環～WA

○若草ふるさとアカデミー ○みと市民プロジェクト 活動内容は、2 ページでご紹介しています。



## いばらき未来基金第2回テーマ助成団体のご紹介

団体名：NPO 法人 認知症介護家族の会うさぎ  
活動名：「子ども認知症介護教室」  
活動場所：稲敷市

テーマ1：だれもが安心して暮らせる地域づくり  
20万円

認知症介護は当事者にとっても家族にとっても大きな負担です。でも、正しく理解すれば地域で支え合うこともでき、予防も可能、次世代を担う小学生を対象に独自のプログラムを開発し認知症介護教室を実践、教材制作や広報に助成金を活用していただきます。



団体名：茨城保健生協 ここにこ食堂  
活動名：「子ども食堂」  
活動場所：水戸市

テーマ1：だれもが安心して暮らせる地域づくり  
20万円

地域を見渡すと、ひとりで食事をしている子、もしかしたら十分な栄養が取れていないのではないかと思われる子がいることから、何かできることは、と考えたここにこ食堂の活動です。生協のネットワークを生かしてボランティアで子ども食堂を開催しています。本当に支援を必要としている子へのアプローチが課題です。



団体名：NPO 環~WA  
活動名：都市と里を農でつなげるプロジェクト~竹の再利用で人も自然もつながる~  
活動場所：茨城町

テーマ2 未来世代と持続可能性  
15万円

茨城県は森林や里山が多く、資源に恵まれているにも関わらず適切な整備がされず、荒廃した森林が多くあります。原因は里山の資源を生活の中で利用しなくなった為です。特に里山への竹の侵食が問題なので、竹林整備しながら竹パウダーを作り、農作物の肥料にするなどの竹の再利用への取り組む活動に、助成を行うことになりました。新しい里山保全の取り組みにご期待下さい。



団体名：若草ふるさとアカデミー  
活動名：未来をひらくふるさと塾  
活動場所：小美玉市

テーマ2：未来世代と持続可能性  
10万円

不登校や子どもの夜の徘徊など子どもの問題は地域の問題であり、家庭だけでは解決がしにくくなっている。共働きや片親家庭も増えている中、まずは地域で子どもたちの学習支援を行いながら、野外活動や地域の大人と触れ合う居場所づくりを目指した活動です。自治会にとどまらず、地域を巻き込んだ次世代の育成に広がる一歩を未来基金が応援します。



団体名：みと市民プロジェクト  
活動名：市民まちづくりトレーニング@水戸  
活動場所：水戸市

テーマ3：地域資源の再利用  
15万円

地域の課題は様々あるが、担い手不足は顕著である。このプログラムは、地域の資源を生かしてさまざまなアイデアを出し、実行できるまちづくり人材の育成に取り組むところがユニークで未来基金が応援すべきプログラムだと考えられています。どんな人材が生まれ、またネットワークができるのか楽しみです。



贈呈式では、共通した悩みを持っている団体が情報交換したり、連携して取り組めるかも、というような話し合いがなされていました。



## 活動取材してきました！

コモンズインターン  
古山みのり&鈴音(2歳)



2016年度いばらき未来基金冠助成「花王・ハートポケット倶楽部地域助成」。助成団体は、NPO 法人 kosodate はぐはぐ、NPO 法人こどもの育ちサポートステーション、学びと交流の秘密基地、あっとままの4団体です。

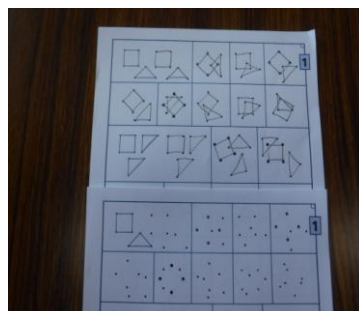
(残りの2団体はFB等で紹介しますので、ぜひご覧ください。)

### ONPO 法人こどもの育ちサポートステーション (大洗)

普通学級に通うものの、発達に凸凹のある子どもたちをサポートしている NPO。今回取材してきたのは、そんな子どもたちのための「フォイヤーシュタイン教育プログラム」。このプログラムで、生徒に自ら気づかせて考えさせ、最終的には自立した日常生活や学習への応用ができるようになることを目標としています。

フォイヤーシュタインプログラムは、来年の3月まで月に1回程度開催予定です。詳細はお問い合わせください。

お問い合わせ先: NPO 法人こどもの育ちサポートステーション(代表 大山)



取り組んでいたのはこちら。散らばった点のなかに、モデルとして与えられた図形を見出し、点と点で結び図形を描いていく作業です。思っていたより難しい！！

サロン以外にも、出張サロンやランチ会などの活動を行っています。

また、会員(500円/年)にはベビーグッズのレンタルやリサイクルグッズのプレゼントなども。詳細はHP (<https://atmama.jimdo.com/>)をご覧ください。



0歳あかちゃんサロンでは、必ずぶち講座の時間を設け、ママ同士の交流の輪を広げています。

### ○あっとまま (水戸)

2016年7月に立ち上げたばかりの、ママ達のボランティア団体です。妊娠中から産後にかけての継続したサポートの必要性を感じ、今回の助成をもとにチラシ作成など、体制を整えました。現在、月に1回「マタニティサロン」と「0歳あかちゃんサロン」を開催しています。2017年10月には、水戸市と協働事業を行うなど、活動を発展させています。

水戸市マタニティサロンは、水戸市内のパン屋さんをお借りして開催中です。



## いばらき未来基金運営委員のご紹介



「新聞を出すから短文を」と頼まれて鉛筆を取った次第。依頼者は子育て真最中なのにまちや若者たちの未来に資するファンドの普及のために新聞をと取り組んでおられるのだから、基金の運営委員長である私がそれをサポートして P.R.紙に小文をお届けするのは当然のことでしょう。NPO といった市民団体がその活動を P.R.するのは簡単でなく、新聞を発行して達成するのも容易ではありませんが、いばらき未来基金の新たな取り組みに一寸した支援で結構ですから、宜しくお願い致します。

いばらき未来基金運営委員長 帯刀 治



ご一緒に！

## いばらき未来基金 これからの取り組み

### 常総空き家活用による地域コミュニティ拠点づくりプログラムスタート！

台風 18 号による鬼怒川の決壊で、茨城県常総市は床上浸水などの多くの被災者を生んでしまいました。水害から 2 年、自宅の改装ができず常総市から引っ越しをした方、親戚を頼って避難生活を余儀なくされた方もまだまだ多くいらっしゃいます。災害から復興へ、新しいコミュニティづくりに向けて、いばらき未来基金が事業指定プログラムで応援します。まずは、コミュニティの拠点づくりにできることを企画募集し、地域の方たちと一緒に実現に向けて調査や、資金集めも行っていきます。これからの取り組みにぜひ注目してください！詳しくはホームページをご覧ください。

日程	プログラム
<b>完了！</b> 2017 年 9 月～10 月 2017 年 10 月～12 月 10 月 10 月～12 月 2017 年 11 月～ 2018 年 2 月	<b>1. フィールドとなる空き家の発掘</b> 空き家の状態調査や物件所有者の意向確認、調整など <b>2. 空き家活用の担い手の公募と企画コンペ実施</b> 募集要項作成及び担い手公募 企画コンペ開催広報及び実施 <b>3. 事業企画のブラッシュアップ</b> ワークショップ開催 定期的な助言及び相談対応 <b>4. 伴走型寄付募集と仲間づくりを連動させたキャンペーンの実施</b> 空き家活用の担い手やデザイナーを交え、寄付募集ツール作成 支援者開拓や協力組織訪問など <b>5. 特定の遊休物件活用を前提とした事業指定プロセスの整理と発信</b>

2017 年 8 月 20 日 花王ハートポケットクラブ・地域助成 締め切り

2017 年 10 月 遺贈研修会（専門家向け）開催

2017 年 11 月 遺贈研修会（NPO 向け）開催

2017 年 12 月 遺贈交流会 開催

2017 年 12 月 寄付月間

### 寄付つき商品が広がっています。みなさんのアイデアで、いばらきの未来を育てる基金への協力の輪を増やしてください！

《寄付つき商品の事例》

◆干し芋 生活協同組合 パルシステム茨城と JA ひたちなかのご協力により、430 円の商品売上のうち 10 円が寄付。

◆原木しいたけ 生活協同組合 パルシステム茨城と JA つくば市谷田部のご協力により、310 円の商品売上のうち 10 円が寄付。

◆英単語カレンダーほか 生活協同組合 パルシステム茨城と認定 NPO 法人 リヴォルヴ学校教育研究所のご協力により、1 冊 1200 円の商品売上のうち、333 円が寄付。

バルシステム茨城 12月2回

見ておぼえる 聞いておぼえる  
自分で気づいて 自分で考える



100960  
よめる かける  
**ABC 英語  
れんしゅう  
ちよう**  
A4版中綴じ64ページ  
本体 667円  
(税込 720円)

◆文字目で始まる絵にアルファベットを組み込み、bとdなどの混同を助けます。  
◆「目」に写す気づき」をうながし、学び取る力そのものを伸ばします。  
◆なじみのある絵を多く取り上げ、暮らしの中で学び方を育てます。  
◆絵を参考に言葉を聴かせながら、バランスよく読む力を伸ばします。

アルファベットの練習

見ておぼえる

聞いておぼえる

自分で気づいて

自分で考える

★この商品は、12月12日（月）～16日（金）にお届けになります。  
★バルシステム茨城のみの取り扱い商品です。注文書の日付記入欄にてご注文ください。

**いばらき未来基金**

いばらき未来基金は、茨城の未来づくりにつながる市民活動に助成するため、茨城NPOセンター・コモンズが、バルシステム茨城や県内の企業、労働組合、金融機関、メディアなどの協力を得て運営しています。  
前回は商品売り上げのうち113,870円のご寄付をいただくことができました。ありがとうございます！



発行：いばらき未来基金 <http://ibaraki-mirai.org/>

認定特定非営利活動法人茨城 NPO センター・コモンズ内  
茨城県水戸市梅香二丁目 1 番 39 号 茨城県労働福祉会館 2 階